

令和4年度 第2回全国有床診療所連絡協議会役員会

令和4年8月28日(日) 11:00～  
於 WEB会議

出席者 (敬称略)

○ 齋藤 (徳島)	○ 平尾 (広島)	○ 笠原 (福井)
○ 鹿子生 (福岡)	○ 正木 (山口)	× 瀧本 (静岡)
○ 葉梨 (神奈川)	○ 森 (徳島)	○ 神野 (滋賀)
× 小林 (岐阜)	○ 長谷川 (長崎)	○ 辻 (和歌山)
○ 河野 (宮崎)	× 松原 (熊本)	× 米川 (鳥取)
○ 猿木 (群馬)	○ 原田 (福岡)	○ 櫻井 (鳥根)
× 小原 (岩手)	○ 下野 (青森)	○ 秋山 (岡山)
○ 鈴木 (北海道)	○ 小野崎 (秋田)	○ 石井 (広島)
○ 鈴木 (北海道)	○ 新妻 (福島)	○ 榎村 (香川)
○ 小玉 (秋田)	○ 竹村 (栃木)	× 相原 (愛媛)
○ 大場 (茨城)	○ 松岡 (千葉)	○ 福田 (高知)
○ 長島 (栃木)	× 玉城-嘉 (神奈川)	○ 枝國 (佐賀)
○ 小川 (埼玉)	○ 田邊 (山梨)	× 吉賀 (大分)
○ 前田 (静岡)	× 塚田 (長野)	○ 仮屋 (宮崎)
○ 西城 (三重)	○ 徳永 (新潟)	○ 林 (鹿児島)
○ 市橋 (兵庫)	○ 杉木 (富山)	× 玉城-信 (沖縄)
○ 木村 (岡山)	○ 森下 (石川)	

※千葉県は吉田先生から松岡先生へ、山梨県は小俣先生より田邊先生へ交代。

◎会長挨拶  
議 題  
(報告事項)

1. 参議院選挙について(猿木副会長)……資料1. 参照
2. 令和3年度庶務事業報告について(松本専務理事)……資料2. 参照
3. 令和3年度決算について(松本専務理事)……資料3. 参照
4. 診療報酬改定について(正木常任理事)……資料4. 参照
5. 今年度有床診療所の日について(齋藤会長)

6. 「令和4年度医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」第2回委員会(長島常任理事)……資料5. 参照

7. 山梨大会準備状況について(田邊理事)……資料6. 参照

8. その他

(協議事項)

1. 令和4年度事業計画案について(齋藤会長)……資料7. 参照

2. 令和4年度予算案について(松本専務理事)……資料8. 参照

3. 一般社団法人への移行について(齋藤会長)

4. 定款変更に向けての役員増員について(原広報担当理事)

5. 役員改選について(松本専務理事)……資料9. 参照

6. 新型コロナウイルス感染症等に対する有床診療所の対応について(齋藤会長)

7. 自民党・有床診療所の活性化を目指す議員連盟開催について(猿木副会長)……資料10. 参照

8. 次々回総会(福島大会)について(新妻理事)……資料11. 参照

9. その他

**日医連 e-メール号外**

(第 16 号 2022. 07. 11)

**第 26 回参議院議員通常選挙  
自見はなこ先生  
213, 359 票を獲得し、当選!!**

昨日行われた第 26 回参議院議員通常選挙において、日本医師連盟組織内候補である自見はなこ先生は、速報値で 213, 359 票を獲得し、自由民主党比例代表候補者 33 名のうち第 8 位、医療・介護関係候補者 10 名のうちトップの成績で当選を果たされました。都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の先生方の日頃の政治活動に厚く御礼申し上げます。

自見先生におかれましては、今後 6 年間にわたり、これまでのご活躍以上の、更なるご活躍をされますことを期待申し上げます。自見先生のこれからの医政活動に対して、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟の先生方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

公職選挙法の規定により、選挙の御礼はできませんので、報告のみとさせていただきます。

この e-メールは、都道府県医師連盟、郡市区医師連盟（支部）に送信しています。

## 全国有床診療所連絡協議会 令和3年度庶務事業報告

1. 会 員 数            2, 0 6 3 名        (令和4年3月31日現在)  
                          2, 1 6 6 名        (令和3年3月31日現在)

## 2. 会 議

- 1) 定時総会    :    令和 3年10月23日・24日 (徳島)  
                          14時00分～総会、講演会  
                          9時00分～特別講演、シボジウム
- 2) 常任理事会    :    令和 3年 8月 1日(日)  
                          10時30分～    W E B
- 令和 3年10月23日(日)  
                          12時00分～    ホテルクレメント徳島
- 3) 役 員 会    :    令和 3年 8月29日(日)  
                          11時00分～    W E B
- 令和 3年10月23日(日)  
                          12時50分～    ホテルクレメント徳島
- 令和 3年12月 5日(日)  
                          11時00分～    TKP品川カンファレンスセンターアネックス
- 4) 会 計 監 査    :    令和 3年 7月21日
- 5) その 他
- |             |   |             |
|-------------|---|-------------|
| 議連についての打合せ  | : | 令和 3年11月24日 |
| 厚労大臣・副大臣へ挨拶 | : | 令和 3年11月24日 |
| 議連総会打合せ     | : | 令和 3年12月 5日 |
| 有床診議連総会     | : | 令和 3年12月13日 |
| 厚労省訪問       | : | 令和 3年12月13日 |
| 富岡勉先生慰労会    | : | 令和 4年 1月19日 |

国光あやの議員と面談	:	令和 4年 1月20日
日医・四病院代表と厚労省訪問	:	令和 4年 3月18日
松田峻一良福岡県医師会長お別れの会	:	令和 4年 3月19日
野田毅先生慰労会	:	令和 4年 3月26日

#### 6) 外部委員会

- ・日医 有床診療所委員会（松本専務理事）
- ・日医 診療報酬検討委員会（正木常任理事）
- ・日医 医業税制検討委員会（小林副会長）
- ・日医 地域包括ケア推進委員会（長島常任理事）
- ・日医 医師会共同利用施設検討委員会（猿木副会長）
- ・厚労省 外来機能報告等に関するワーキンググループ（猿木副会長）
- ・厚労省 医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究委員会（長島常任理事）

### 3. 刊 行 物

有診協ニュース NO. 77

令和3年度 全国有床診療所連絡協議会収支決算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

収入の部

款 項	令和3年度 予 算	令和3年度 決 算	比 較		備 考
			増	減	
第1款 会 費	39,650,000	31,800,000		7,850,000	(北海道) 1,290,000円 (兵庫) 710,000円 (青 森) 750,000円 (和歌山) 360,000円 (岩 手) 520,000円 (鳥 取) 230,000円 (秋 田) 520,000円 (鳥 根) 450,000円 (福 島) 410,000円 (岡 山) 1,100,000円 (茨 城) 880,000円 (広 島) 1,560,000円 (栃 木) 930,000円 (山 口) 1,080,000円 (群 馬) 600,000円 (徳 島) 1,200,000円 (千 葉) 750,000円 (香 川) 830,000円 (山 梨) 330,000円 (愛 媛) 1,110,000円 (長 野) 350,000円 (高 知) 420,000円 (富 山) 260,000円 (佐 賀) 2,040,000円 (石 川) 600,000円 (長 崎) 2,120,000円 (岐 阜) 950,000円 (熊 本) 2,380,000円 (静 岡) 670,000円 (宮 崎) 1,800,000円 (三 重) 560,000円 (鹿 児 島) 2,720,000円 (滋 賀) 500,000円 (沖 縄) 350,000円 (個人会員) 470,000円
第2款 雑 収 入	1,000	539		461	預金利息
第3款 前年度繰越金	75,993,232	75,993,232			
合 計	115,644,232	107,793,771		7,850,461	

支出の部

款 項	令和3年度 予 算	令和3年度 決 算	比 較		備 考
			増	減	
第1款 会議費	15,000,000	8,728,613		6,271,387	総会補助金(送料含む) 5,000,000円 会計監査、常任理事会(2回)、役員会(3回)
第2款 災害対策費	20,000,000	0		20,000,000	
第3款 広報活動費	3,000,000	1,133,220		1,866,780	日医及び行政他との懇談会等
第4款 議連関連費	10,000,000	3,388,000		6,612,000	自民党議連総会及び勉強会等
第5款 IT関連費	4,000,000	1,510,020		2,489,980	ホームページ保守・管理料・更新料
第6款 調査研究費	3,000,000	321,020		2,678,980	有床診療所に関する調査研究等
第7款 印刷費	6,000,000	476,850		5,523,150	会報、封筒他
第8款 消耗品費	3,000,000	648,277		2,351,723	パソコン・複合機リース他、宛名ハル、用紙など
第9款 通信費	3,000,000	1,215,431		1,784,569	電話、電報、送料、インターネット利用料、NTT(WEB)利用料
第10款 交通費	500,000	21,330		478,670	タクシー代他
第11款 給与費	8,000,000	5,476,575		2,523,425	委託料、法定福利費、事務職員給与、アルバイト料
第12款 渉外費	3,000,000	2,036,760		963,240	生花、香典他
第13款 事務室経費	2,000,000	699,210		1,300,790	家賃、光熱費他
第14款 雑 費	300,000	72,526		227,474	振込手数料他
第15款 予備費	34,844,232	0		34,844,232	
支出合計		25,727,832			
繰越金		82,065,939	82,065,939		次年度繰越金
合 計	115,644,232	107,793,771		7,850,461	

以上のとおり相違ないことを証明します。

剰余金 82,065,939円

令和4年7月2日

会計監查理事

吉 賀 攝



枝 國 源一郎



## 令和4年度 診療報酬改定の評価

### 総論

令和4年度診療報酬改定率に関して、診療報酬+0.43%はここ5回の改定では最も低い改定率であり不十分であったと言わざるを得ず、また、今回も薬価等引下げ(-1.37%)財源が技術料として診療報酬本体に戻すことが十分でなく残念であった。

診療報酬+0.43%の中の各科改定率は、医科+0.26%、歯科+0.29%、調剤+0.08%で、例年通り暗黙の了解である【1(医科):1.1(歯科):0.3(調剤)】の比率であったが、「看護の処遇改善のための特例的な対応に+0.20%」及び「不妊治療の保険適応のための特例的な対応に+0.20%」が主に医科に割り当てられたことは、固定化されてきている各科改定比率の打破につながる面もあり評価できる。しかし、「リフィル処方箋の導入・活用促進による効率化▲0.10%」が実現したことは残念である。

### 各論 (有床診療所関係)

基本診療料(外来)に関しては、初再診料の引上げがなかったのは極めて遺憾である。医療は社会にとって必要不可欠な社会的共通資本であり、医療機関の継続的な健全経営が担保されなければならず、よって医師の技術料の根幹をなす初再診料は、その技術料を適正に評価し、さらに人件費や施設費等のコストも考慮に入れた点数設定がなされるべきである。

基本診療料(入院)に関しては、有床診療所一般病床初期加算および有床診療所救急・在宅等支援療養病床初期加算が同じく地域医療を支える病院と同程度への評価、点数への引上げがあったことは評価できる。その他、有床診療所回復期病床の新設、有床診療所入院基本料および有床診療所療養病床入院基本料の引上げ、有床診療所入院基本料通減率の緩和ないしは廃止、医師事務作業補助体制加算の算定要件見直しと点数の引上げや食事療養費の引上げなどの要望が実現しなかったことは残念であった。特に重点要望項目であった「有床診療所回復期病床の新設」は、ほとんどの医療圏で急性期病床および慢性期病床が過剰で、回復期病床が大幅に不足している状況にあって、地域包括ケアシステムの中で、住民の身近にあって、地域に密着した多機能を有する有床診療所は今後必要とされる回復期病床の機能を担っていく有用な医療資源であることからして、次回改定での要望実現を強く求めている。

(文責：全国有床診療所連絡協議会常任理事 正木 康史)

## 次期(令和6年度)診療報酬改定に対する要望項目

令和6年度診療報酬改定は2025年問題を間近に控えての医療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定であり、今後の四半世紀の日本の医療・介護・福祉の方向性を決める重要な改定となることは間違いない。

有床診療所は地域において、「在宅・介護施設への受け渡し」、「専門医療の提供」、「緊急時対応」、「在宅医療の拠点」、「終末期医療」等の様々な機能を担っており、地域包括ケアシステムの中で大きな役割が期待されているが、現状の有床診療所の経営状況は厳しく、有床診療所施設数の減少に歯止めがかかっていない。住民の身近にあって、地域に密着した多機能を有する有床診療所が存続し、地域医療に有益な病床を維持できるようにするために、以下の要望をお願いする。

### 1. 有床診療所回復期病床の新設

2019年度病床機能報告によると、2025年見込みの回復期病床は20.8万床で、地域医療構想における2025年の回復期病床必要量(37.5万床)に遠く及ばない。地域包括ケアシステムの中で、住民の身近にあって、多機能を有する有床診療所は今後必要とされる回復期病床の機能を担っていく有用な医療資源と成りうるが、有床診療所入院基本料には回復期病床の設定がない。

そこで、現在病院にある地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟と同様形態の以下に記載する回復期病床の新設を強く要望する。

- ① 有床診療所地域包括ケア病床(新設)
- ② 有床診療所回復期リハビリテーション病床(新設)

### 2. 「有床診療所入院基本料」および「有床診療所療養病床入院基本料」の点数の引上げ

地域包括ケアシステムの中で大きな役割が期待されている有床診療所の病床を維持するためには経営基盤の整備、安定化が必須である。しかし、現状の有床診療所の経営状況は厳しく、新型コロナウイルス感染症の影響のない令和元年度有床診療所の現状調査(日医総研)でも、患者1人1日当たり入院収入平均18,557円に対して、入院経費は平均20,805円で、患者1人1日当たり2,248円の赤字で、年々悪化してきており、有床診療所の施設数の減少に歯止めがかかっていない。多くの有床診療所では入院収支の赤字を外来収入で穴埋めしているのが現状であるが、近年の外来患者数の減少傾向の中で、その穴埋めも困難となりつつある。有床診療所が存続し、地域医療に有益な病床を維持するためには、少なくとも入院収支の赤字解消が不可欠であり、早急かつ大幅な入院基本料の引上げが必要である。

### 3. 「医師事務作業補助体制加算」の算定要件の見直しと点数の引上げ

令和2年度改定で有床診療所でも算定要件できるようになったが、元々急性期病院に対する加算であって、算定要件が従前のままであるため、ごく限られた有床診療所しか算定できない状況にある。有床診療所勤務医師の事務負担が軽減できるよう、有床診療所に見合った算定要件への見直しと人件費に見合った加算点数への引上げを要望する。

### 4. 「有床診療所入院基本料の注4・夜間緊急体制確保加算」の点数の引上げ

地域包括ケアシステムの中で、住民の身近にあって、多機能を有する有床診療所は夜間の緊急対応にも貢献しており、2019年度日医総研のアンケート調査では、回答施設の49.5%が「週1回以上の夜間緊急対応可能」、34.1%が「ほぼ毎日対応可能」であった。地域の救急医療を守るために、今後も同様な対応を維持していきたいと考えるが、夜間の人材確保が困難な状況があり、是非とも体制確保加算の点数引上げをお願いしたい。

### 5. 「入院時食事療養費」の引上げ

入院時食事療養費は平成9年消費税引き上げ（3%⇒5%）時に1日当たり20円（食事療養費Ⅰ：1日1,900円⇒1,920円）引上げられたが、その後、現在に至るまで一度も見直されていない。その後の25年間には人件費・物価とも上昇し、また、消費税も5%から8%、更に10%になって、医療機関の負担も大幅増となっている。特に人件費は平成9年当時の全国最低賃金（全国加重平均時間額）638円に対し、令和3年度の全国最低賃金は930円と292円もの大幅増となっている。患者さんに負担増を強いることは心苦しい面もあるが、患者さんに満足していただける食事を提供するためにも食事療養費の引上げはやむを得ない。



厚生労働省「令和4年度 医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく  
医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」

第2回委員会 議事次第

日時:令和4年8月9日(火)15:00~17:00

1. 開会のあいさつ
2. 調査・研究方針の検討
  - (1) 特別支援事業ティアップ事業
  - (2) 医療機関の勤務環境改善の取り組み状況の情報の収集及びその分析
  - (3) 医療機関に対する実態調査

---

■配布資料

議事次第(本紙)

資料1) 各事業検討資料

別紙1) 調査票\_施設票(病院)

別紙2) 調査票\_職員票(医師)

別紙3) 調査票\_施設票(有床診療所)

別紙4) 調査票\_職員票(看護職)

別紙5) 調査票\_職員票(コメディカル)

本日の出欠状況は以下のとおりです

検討委員会の委員

項目	氏名 (敬称略・五十音順)	所属	出欠
委員長	酒井 一博	公益財団法人 大原記念労働科学 研究所	出席
	小村 由香	公益社団法人 日本看護協会 労働政策部看護労働課	出席
委員	亀山 周二	東京医療保健大学 学長	出席
	木戸 道子	日本赤十字社医療センター第一産婦人科 部長	出席 (ご参加が遅れる可能性有)
	調所 勝弘	昭和女子大学 食健康科学部 管理栄養学科 教授	欠席
	長島 徹	全国有床診療所連絡協議会常任理事	出席
	野原 理子	東京女子医科大学 教授	出席
	福島 通子	福島通子社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士	出席
	安庭 和孝	社会医療法人 愛仁会 井上病院 事務部長	出席
	吉川 徹	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所統括研究員	移動のため 音声のみ
	和田 頼知	公認会計士、地方公営企業等経営アドバイザー	欠席
	オブザーバー	深澤 理香	特定社会保険労務士

## 第35回全国有床診療所連絡協議会総会「山梨大会」プログラム

メインテーマ：「富士の麓で話し合おう！2025年問題をチャンスに変えるために」

開催日：2022年11月5日（土）・6日（日）

開催場所：ハイランドリゾートホテル&amp;スパ 〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原5-6-1

Tel.0555-22-1000

【第1日目 2022年11月5日（土）】（受付開始 11:30～）

常任理事会・役員会（2F コスモス・B1F 芙蓉）

12:00～12:50	全国有床診療所連絡協議会 常任理事会
12:50～13:50	全国有床診療所連絡協議会 役員会

総会・特別講演・講演会（2F バンケット富士）

14:00～14:50	<p>《総会》</p> <p>1. 開会の辞 山梨県有床診療所協議会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>(1) 第35回全国有床診療所連絡協議会総会会長・山梨県医師会会長</p> <p>(2) 全国有床診療所連絡協議会会長</p> <p>3. 祝辞 日本医師会会長</p> <p>4. 議事</p> <p>5. 次期開催県会長挨拶 福島県医師会会長</p> <p>6. 閉会の辞 山梨県有床診療所協議会</p>	<p>手塚 司朗</p> <p>斉藤 義郎</p> <p>松本 吉郎 様</p> <p>佐藤 武寿 様</p>
15:00～16:00	<p>《特別講演》(60分)</p> <p>「 」</p> <p>講師：日本医師会会長</p> <p>座長：山梨県医師会会長</p>	<p>松本 吉郎 様</p> <p>手塚 司朗</p>
16:10～16:50	<p>休憩10分</p> <p>講演I (40分)</p> <p>「 」</p> <p>講師：日本医師会総合政策研究機構研究部専門部長主席研究員</p> <p>座長：山梨県医師会</p>	<p>江口 成美</p>

懇親会 (2F バンケット富士)

17:50~20:00	<p>1. 開会の辞 県有床診療所協議会</p> <p>2. 挨拶 (1) 第35回全国有床診療所連絡協議会総会会長・山梨県医師会会長 (2) 全国有床診療所連絡協議会会長</p> <p>3. 祝辞 (1) 日本医師会会長 (2) 山梨県知事</p> <p>4. 乾杯 (次期開催県) 福島県医師会会長</p> <p>5. 来賓紹介</p> <p>6. 閉会の辞 山梨県医師会</p>	<p>手塚 司朗 斉藤 義郎</p> <p>松本 吉郎 様 佐藤 武寿 様</p>
-------------	--	---

【第2日目 2022年11月6日 (日)】(受付開始 8:00~)

講演会・シンポジウム・総括 (2F バンケット富士)

9:00~9:50	<p>《講演会》(50分)</p> <p>「 」</p> <p>講師：厚生労働省 医政局 総務課 保健医療技術調整官 座長：山梨県医師会</p>	矢野 好輝
10:00~11:30	<p>休憩 10分</p> <p>《シンポジウム》(90分)</p> <p>テーマ「富士の麓で話し合おう！ 2025年問題をチャンスに変えるために」</p> <p>座長：</p> <p>シンポジスト：(各15分)</p> <p>内科、整形外科、産婦人科</p> <p>① 田辺産婦人科 ② 今井整形外科医院 ③ 富士厚生クリニック</p> <p>ディスカッション (45分)</p>	田辺勝男 今井大助 古藤正典
11:30~11:50	<p>《総括》</p> <p>全国有床診療所連絡協議会会長</p>	斉藤義郎
11:50	<p>閉会の辞</p> <p>山梨県有床診療所協議会</p>	

## 令和4年度 事業計画（案）

コロナ禍が続く中、高齢者をはじめとする患者の医療機関受診抑制が慢性化し、外来数の減少から各医療機関の経営も回復にはほど遠い状況である。

このような状況においても、我々は少子高齢社会における地域医療の担い手として、日本医師会・都道府県医師会と連携しつつ国民の健康と生命を守る努力を続けなければならない。

また、全国有床診療所連絡協議会の組織をさらに公的なものとするためには、法人化は避けて通れない課題と思われる。

その為に、今年度、以下の事業を行う。

1. 有床診療所経営状態の調査を行い、状況に応じ必要な支援を行う。
2. 地域住民のニーズに応えるべく、医学・医療の研鑽に努めると同時に、「かかりつけ医」として総合的な初期医療を実践する。
3. 有床診療所・地域包括ケアモデルのかかりつけ医機能を推進すべく、介護事業への参入を推進し、地域の多職種との連携に努める。有床診療所・専門医療提供モデルの活性化を図るため、各専門医会との連携を進める。
4. 有床診療所における働き方改革を進め、医療勤務環境を改善する。
5. 有床診療所における災害の発生防止と対応に十分な対策を講じる。  
(スプリンクラー補助金の活用促進を図る)
6. 次世代を担う“若手医師の会”の活動を活発化し、支援する。
7. 広く全国の地域住民への理解を深めるため、「有床診療所の日」記念行事を継続し、積極的な広報活動を行う。
8. 本組織の法人化について検討する。

## 令和4年度 全国有床診療所連絡協議会予算（案）

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

単位：円

## 収入の部

款 項	令和3年度予算	令和4年度予算案	備 考
第1款 会 費	39,650,000	38,580,000	A会員@20,000 X 1795名 B会員@10,000 X 268名
第2款 雑 収 入	1,000	1,000	預金利息
第3款 前年度繰越金	75,993,232	82,065,939	
合 計	115,644,232	120,646,939	

## 支出の部

款 項	令和3年度予算	令和4年度予算案	備 考
第1款 会 議 費	15,000,000	15,000,000	総会補助（送料補助含む） 常任理事会・役員会 会計監査
第2款 災害対策費	20,000,000	10,000,000	お見舞金他
第3款 広報活動費	3,000,000	5,000,000	各方面への広報活動
第4款 議連関連費	10,000,000	10,000,000	有床診議員連盟総会・勉強会他
第5款 IT関連費	4,000,000	4,000,000	ホームページ保守・管理・更新料
第6款 調査研究費	3,000,000	4,000,000	有床診療所に関する調査・研究等
第7款 印 刷 費	6,000,000	6,000,000	会報・総会報告書等
第8款 消耗品費	3,000,000	3,000,000	プリンター・パソコン関係、事務用品等
第9款 通 信 費	3,000,000	3,000,000	メディアアクセス、郵送料、電話料他
第10款 交 通 費	500,000	500,000	タクシー、高速代等
第11款 給 与 費	8,000,000	8,000,000	職員給与、事務委託料、法定福利費、アルバイト料
第12款 渉 外 費	3,000,000	5,000,000	香典、花代等
第13款 事務室経費	2,000,000	2,000,000	事務室家賃、光熱費他
第14款 雑 費	300,000	300,000	振込手数料他
第15款 予 備 費	34,844,232	45,846,939	
合 計	115,644,232	121,646,939	

令和4年・5年度新執行部(案)

(敬称略)

ブロック (7)	協議会 (41道県)	会員数 R4. 3/31	理事	ブロック別		現執行部	新執行部(案)
				会員数	定数		
北海道	北海道	72	鈴木伸和	72	1	鈴木伸和(ブロック)	鈴木伸和(ブロック)
東北 ブロック長	青森県	40	下田 肇	165	1	小原紀彰(副会長) 小玉弘之(ブロック)	小玉弘之(副会長) 本間 博(ブロック)
	岩手県	29	小原紀彰				
	宮城県	45					
	秋田県	29	小野崎圭助				
	山形県						
	福島県	22	新妻和雄				
関東 ・ 甲信越 ブロック長	茨城県	46	大場正二	317	1	葉梨之紀(名誉会長) 猿木和久(副会長) 長島 徹(指名) 小川郁男(ブロック) 大場正二(指名)	葉梨之紀(名誉会長) 猿木和久(副会長) 長島 徹(指名) 小川郁男(ブロック) 大場正二(指名)
	栃木県	47	竹村克己				
	群馬県	30	猿木和久				
	埼玉県	67	小川郁男				
	千葉県	36	松岡かおり				
	東京都						
	神奈川県	30	玉城嘉和				
	山梨県	18	田邊譲二				
	長野県	18	塚田 修				
	新潟県	25	徳永昭輝				
中部 ブロック長	富山県	19	杉木繁隆	188	1	小林 博(副会長) 前田津紀夫(指名) 西城英郎(ブロック)	小林 博(副会長) 前田津紀夫(指名) 西城英郎(ブロック)
	石川県	33	森下 裕				
	福井県	18	笠原 章				
	岐阜県	53	小林 博				
	静岡県	35	淵本晃司				
	愛知県						
	三重県	30	西城英郎				
近畿 ブロック長	滋賀県	27	神野佳樹	83	1	市橋研一(ブロック)	
	京都府						
	大阪府						
	兵庫県	38	市橋研一				
	奈良県						
	和歌山県	18	辻 興				
中国 ・ 四国 ブロック長 齋藤義郎	鳥取県	13	米川正夫	430	1	齋藤義郎(会長) 木村 丹(指名) 正木康史(ブロック) 平尾 健(ブロック) 森 俊明(指名)	齋藤義郎(会長) 木村 丹(指名) 正木康史(ブロック) 平尾 健(指名) 森 俊明(指名)
	島根県	23	櫻井照久				
	岡山県	58	秋山正史				
	広島県	84	石井哲朗				
	山口県	57	正木康史				
	徳島県	58	森 俊明				
	香川県	47	檜村雅典				
	愛媛県	66	相原忠彦				
	高知県	24	福田善晴				
九州 ブロック長 河野雅行	福岡県	178	原 速	785	3	鹿子生健一(最高顧問) 河野雅行(副会長) 松本光司(専務理事) 原 速(広報) 長谷川宏(ブロック) 松原三郎(ブロック)	鹿子生健一(最高顧問) 河野雅行(副会長) 松本光司(専務理事) 原 速(広報) 長谷川宏(ブロック) 松原三郎(ブロック)
	佐賀県	97	枝國源一郎				
	長崎県	106	長谷川宏				
	熊本県	134	松原三郎				
	大分県	18	吉賀 攝				
	宮崎県	99	仮屋純人				
	鹿児島県	135	林 芳郎				
	沖縄県	18	玉城信光				
合 計		2040		2040	9	23	22

※ブロック選出常任理事数は会員300名につき1名、端数が生じた場合は150名を超える時のみ1名を加える。

2022年8月20日現在

## 有床診療所の活性化を目指す議員連盟役職者一覧

役職	議員名	院	会館	号室	選挙区	
名誉顧問	野田 毅 (衆)					
名誉顧問	富岡 勉 (衆)					
顧問	尾辻 秀久	参	参	515	鹿児島	
会長	加藤 勝信	衆	第2	1104	岡山5区	
副会長	衛藤 晟一	参	参	1216	全国	
副会長	江藤 拓	衆	第2	1207	宮崎2区	
副会長	金田 勝年	衆	第2	1009	東北比例	
副会長	上川 陽子	衆	第2	305	静岡1区	
副会長	坂本 哲志	衆	第2	702	熊本3区	
副会長	武見 敬三	参	参	413	東京5区	
副会長	田村 憲久	衆	第1	902	三重1区	
副会長	葉梨 康弘	衆	第1	1117	茨城3区	
幹事長	福岡 資麿	参	参	919	佐賀県	
副幹事長	新谷 正義	衆	第2	805	広島4区	帝京医
副幹事長	三ツ林 裕巳	衆	第2	522	埼玉14区	日大医
事務局長	羽生田 俊	参	参	319	全国	東京医大
事務局次長	自見 はなこ	参	参	504	全国	東海医



第 3 6 回  
全国有床診療所連絡協議会総会  
福島大会 (予定)

開催日 2023年9月2日(土) 3日(日)

会場 福島県福島市 奥飯坂穴原温泉 吉川屋  
(対面開催)

スケジュール

2023年9月2日(土)	14:00~14:50	総会
	15:00~17:00	特別講演、講演
	18:00~20:00	懇親会
2023年9月3日(日)	9:00~11:30	講演、シンポジウム

担当 福島県有床診療所協議会・福島県医師会